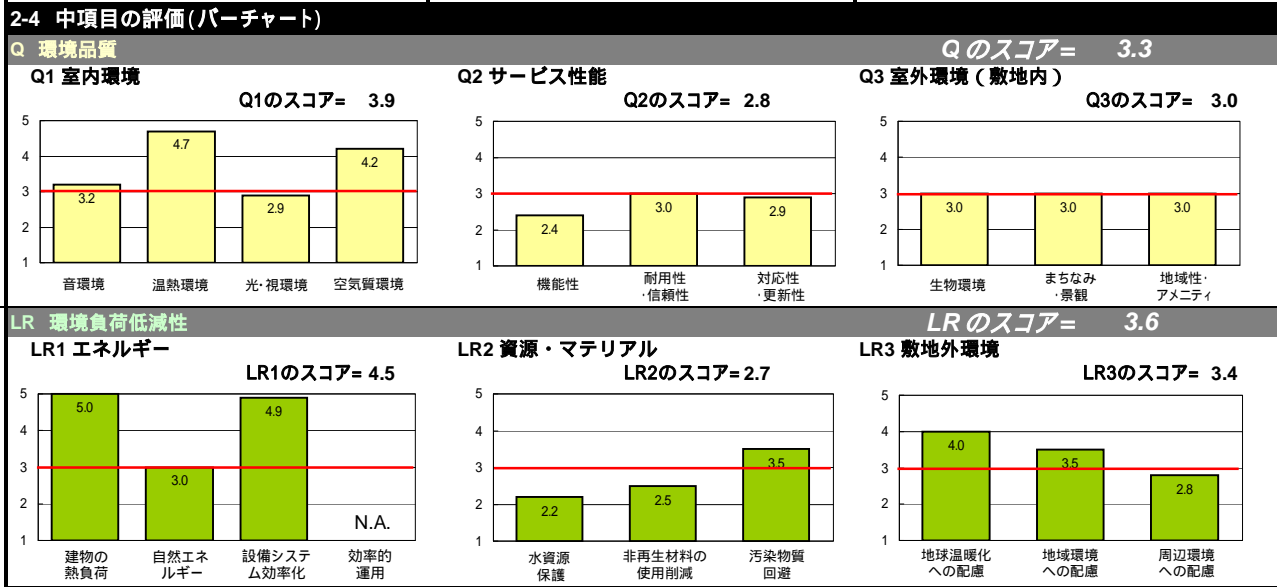
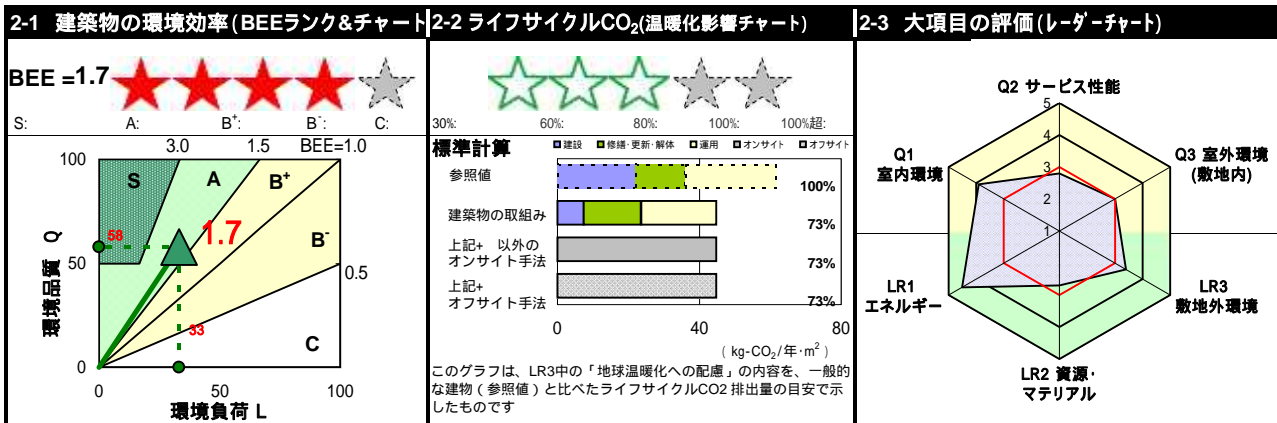


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	オハナ平塚桃浜	階数	地上7F
建設地	神奈川県平塚市桃浜町65番6	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、第一種住居地域	平均居住人員	469人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年12月 予定	評価の実施日	2011年9月1日
敷地面積	5,146 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	2,185 m <sup>2</sup>	確認日	2011年9月1日
延床面積	11,121 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社長谷工コーポレーション



3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 周辺の自然環境を活かし、緑の恵みを楽しみながら暮らすことのできる『自然環境共生型住空間』の形成を目指します。		<b>その他</b>
<b>Q1 室内環境</b> 安心・安全・快適な毎日の生活を居住者に提供し、心豊かに暮らせる住環境を創出します。	<b>Q2 サービス性能</b> 住戸の採光・換気・室温維持及び内装材への配慮を行い、機能的かつ快適で安全な室内環境を創出します。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 周囲への圧迫感や長大感の軽減に配慮した住棟配置とし、緑豊かな周辺環境と調和した空間を形成します。
<b>LR1 エネルギー</b> 潜熱回収型の給湯器を各住戸に設置し、エネルギーの消費削減に努める建物計画とします。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 住戸内の一部の建材に再生利用材を使用し、環境負荷の抑制や自然エネルギーの利用を促進し、地球環境負荷の低減を図ります。	<b>LR3 敷地外環境</b> 住棟建物の分節化を図り、建物の周辺部に植栽を施し、歩道状空地を設け、敷地外環境に配慮した計画とします。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
**Q:** Quality (建築物の環境品質), **L:** Load (建築物の環境負荷), **LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), **BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい